

月刊原宿新聞

発行所
月刊原宿新聞社
本社/東京都渋谷区渋谷1-22-10
T.B. MIYASHITA BLDG.5F
TEL03-3797-6360
FAX03-3797-6355
http://www.harajukushinbun.jp/

光の祭典11年ぶり復活

原宿表参道 来月から63万個のLEDに点灯

「冬の風物詩 原宿のイルミネーションが復活した」
—原宿・表参道のイルミネーションが復活した—
この冬、あのイルミネーションが十一周年ぶりに復活する。九八年までの八年間継続し、諸事情があつて途絶えていたが、「原宿に元気を」と、再開を望む声も多し。ことからは中心となる商店街振興組合原宿表参道連合会(松井誠一理事長)は九月十八日に臨時総会を開き、十二月一日(火)から来年一月十日(日)までのイルミネーション実施を決めた。

再開決議を前に、原宿表参道連合会では、原宿神宮前街つづき協議会を通じてアンケートを実施。冬季イルミネーションについては、地域住民からは八八%、非居住者からは九六%の賛成を得ている。

それらの声をもとに、今年のイルミネーションのテーマは「表参道に集う人々に、笑顔と元気を」。総務課

行業であるH・I・S平林朗社長は協賛を得て、名称は「表参道H・I・S・イルミネーション・ベルシンフォニー」とし、光と音が融合したイルミネーションをめざす。空間デザイナーには、気鋭の長谷川喜美さん起用した。



路上にもイルミネーション (イメージ)

約六三万球を点灯する。十一周年ぶりに復活する光の装飾には、消費電力の少ないLED(発光ダイオード)を使用し、取り付け方法も工夫して、樹木への負担を大幅に軽減するなど「環境配慮型イルミネーション」とする。

元々の低木には、風がそよぐと優しい音色を奏でるベルを設置し、光と融合した空間を演出する。ベルは、来街者が購入して、メッセージとともに飾りつけるなど、「来街者参加型のベル装飾」をめざす。ベルの売り上げの一部は、表参道の保存に当て、メッセージは終了後明治神宮に奉納される。

イルミネーションの点灯する期間は、原宿・表参道周辺の各ショップが特別メニューや限定商品、イベントなどを企画し、スタッフは共通のアイコンとしてピンバッジを付けて、来街者を迎える。

これらに要する経費は、約一億円。H・I・Sの協賛金および経済産業省からの補助で、大半をまかなう。このうち経産省からの補助金は約一億円。商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律(新法)が、今年七月十五日に公布。八月一日に施行されたことから可能になったもので、総事業費の二分の一が補助される。

さらに「原宿表参道の個性と和・洋を活かした職住のバランスの取れた地域活性化事業計画」が、適正と認定されたことから、次年度は事業費の三分の二補助へとアップする。認定されたのは全国で十九商店街(東京は原宿表参道のほか中延、武蔵小山の三商店街)。

原宿表参道連合会では「冬季イルミネーションイベントの実施」を皮切りに①樹木の植え替えおよび植栽帯保全の取り組み②公共屋外広告(フラッグ)掲載③花と音楽イベントの実施④SPAーパークいイベントの実施⑤ハローハロウィーンパンプキンパレードイベントの実施⑥中国個人観光客誘致の取り組み⑦ポイントを活用した来街者囲い込みなどの諸事業に、五年計画で取り組む。

その冒頭イベントとなるイルミネーションの点灯式は十一月三十日に行い、これとは別に、明治神宮での「安全祈願祭」も二十五日に予定している。

社説

「巨悪は眠らせない」。かつて東京地検特捜部の首脳はそう豪語。政界の汚職、疑獄事件などに捜査のメスをいれてきた。

「権力は腐敗する。絶対的権力は絶対的に腐敗する」という思想が背景にあった。権力への監視機関としての司法。その最大の役割は、司法を通して社会正義と公正な世の中の実現にあるのではなからうか。眠らせないのは、とかげの尻尾ではなくあくまで「巨悪」だったはずだ。

第四の権力と言われるマスメディア。ニューヨーク・タイムズのニール・シン

は紙面掲載に踏み切った。問われたのは、「巨悪とは何かそれ誰にとつての国益なのか」だった。歴史の教科書にでるような話かもしれないが、こつた背景があつてニューヨーク

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

「虫に書く」

事案の真相に鋭いメスを

「巨悪は眠らせない」。かつて東京地検特捜部の首脳はそう豪語。政界の汚職、疑獄事件などに捜査のメスをいれてきた。

「権力は腐敗する。絶対的権力は絶対的に腐敗する」という思想が背景にあった。権力への監視機関としての司法。その最大の役割は、司法を通して社会正義と公正な世の中の実現にあるのではなからうか。眠らせないのは、とかげの尻尾ではなくあくまで「巨悪」だったはずだ。

第四の権力と言われるマスメディア。ニューヨーク・タイムズのニール・シン

は紙面掲載に踏み切った。問われたのは、「巨悪とは何かそれ誰にとつての国益なのか」だった。歴史の教科書にでるような話かもしれないが、こつた背景があつてニューヨーク

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

ク・タイムズは、クオリティ・ペーパーとしての存在感を高めた。そこには、この原稿の掲載にあたり「誇り」と「矜持」があつた。ずいぶん沈静化した、この夏、日本では芸能人の

魔法のひと吹き 16時間メイクをキープ!

SKINDINÄVIA

スキンディナビア

微粒子メイクキープミスト
59ml: ¥2,940-(税込)
177ml: ¥8,190-(税込)

0120-77-1223
お問い合わせ: 日本販売元 スキンディナビア ジャパン TEL: 03-3409-8267

www.skandinavial.jp

